

地元説明会における主な質疑応答内容

No	ご質問・ご意見	回答
1	工事関係者に対する、車両の交通等に対する指導はどのようか？	工事車両は、県道 387 号線を下石方面から笠原方面に南下し、現場には左折進入・左折退出するよう徹底します。また、近隣住宅地内の通行や一時停止を禁止するとともに、喫煙マナーにも配慮するよう指導します。
2	開学後、学生の通学手段はどのようなのか？	(1)現状の瑞浪・中津川キャンパスと同様に、多治見キャンパス内には許可制の学生用駐車場を約 200 台確保予定です。近隣の迷惑とならないよう通行ルートを指定・遵守させるほか、交通マナーの指導を徹底します。 (2)JR 多治見駅を利用する学生の通学手段としては、路線バスを想定しています。路線の再編や時間帯による便数の確保について、事業者と協議を進めているところです。 (3)その他、多治見市に転居しない在学生への対応として、JR 瑞浪駅からのスクールバスを運行する予定です。また、瀬戸市からもスクールバスを運行する予定です。
3	多治見キャンパスの位置は、県道 387 号線の下りカーブにあり、キャンパス内への進入時、危険が多いのではないかと。また、市は、路面凍結時に融雪剤をしっかりと散布してほしい。	(1)先述の自家用車通学許可制による人数制限及びキャンパスへの左折進入・左折退出を原則とし、公共交通機関の利用推奨並びに交通マナーの指導徹底により、地域の安全に配慮します。 (2)所管（市、県又は県警）を確認します。 →後日、道路管理者は多治見土木事務所で、融雪剤を散布していることを確認。いただいたご意見を伝達しました。
4	移転開学に伴い、どれくらいの学生が地域に住むことになるのか？また、住居は充足しているのか？大学が寮を建設する	(1)現状、学生の約 6 割が一人暮らしをしています。開学時の学生数が現在の学生数と同等と仮定した場合、令和 9 年 4

	<p>意向はあるのか？ 併せて、学生向け住居整備に当たっては、空き家対策との連携を意識してほしい。</p>	<p>月移転開学時には、約 380 人が地域に住む見込みです。これまで、住居確保に向け、大学・市の共催による不動産事業者向け説明会や個別相談会を複数回実施し、現時点で 250 人以上の学生向け民間賃貸住宅を確保しています。大学が寮を建設する予定はなく、民間事業者と連携した取組を進めます。</p> <p>(2)空き家の学生向けシェアハウス活用等、事業者から大学に相談が寄せられています。活用可能な方には、市の補助制度をご案内しています。</p>
5	<p>スポーツクラブが市施設を利用する際、地域住民に配慮した安全な交通を徹底してほしい。</p>	<p>硬式野球部が滝呂球場を、軟式野球部が向島運動広場を使用する予定です。多治見キャンパスから両施設までの移動は、地域の方とご相談の上、指定ルートを作成し、交通安全に配慮するよう指導を徹底します。</p>
6	<p>移転開学に伴い、外国人留学生の地域への居住者増が見込まれる。歓迎ではあるが、生活ルールの理解等、自治会運営上の懸念もあるため、大学と自治会が連携できるよう配慮してほしい。</p>	<p>(1)外国人留学生は、現在は名古屋方面からの通学者が多いですが、地域への居住者は徐々に増える見込みです。</p> <p>(2)シェアハウスに居住する場合等、自治会の皆さまのご理解とご支援をいただきたいと考えており、しっかり連携を図ります。</p>
7	<p>多治見キャンパスにおいて、市民が利用できる施設や聴講可能な講義はあるのか？</p>	<p>(1)多治見キャンパスに設ける食堂やメディアセンター（図書館）は、市民の皆さまに利用していただけるようにする予定です。ぜひ、ご利用ください。</p> <p>(2)大学では、大学独自の企画としての公開講座や、ご依頼に応じて大学教員が出張して行う出前講座を実施しており、市民の皆さまに受講していただくことができます。また、大学の授業を受講いただける聴講生の制度や、所定科目の単</p>

		位修得に結び付く、科目等履修生制度もあります。
8	若者の活力を地域に活かせるよう、地域のイベントに携わってほしいが可能か？	これまでも、中津川市において、祭り等の地域イベントに企画段階から参画し運営に携わった例があります。地域と連携した取組は、学生の学びに大きく寄与するもののため重視しており、多治見市においても検討しています。ぜひ、ご相談ください。

中京学院大学のお問合せ先

(1)キャンパス整備工事に関すること

担当：星野、新元（しんもと）

電話：0572-68-4555

(2)その他全般に関すること

担当：築瀬（やなせ）

電話：0573-66-3121